

→ 国際交流員パトリック・ルムラーの

ドイツを語るパトリック



Vol.8

サッカー

ドイツで一番人気があるスポーツはなんと言っても、サッカーに違いない。8月から翌年の6月まで、サッカー・ブンデスリーガ、ドイツのプロリーグ戦が行われ、マスコミに毎日サッカーのニュースを報道され、短い冬休みの間にもトレーニングキャンプのニュースが報道される。もちろん、ブンデスリーガのニュースだけでなく、イギリスをはじめ、スペインやイタリアなどのヨーロッパの主要リーグのニュースも報道される。週末にブンデスリーガのリーグ戦が行われ、平日にUEFAチャンピオンズリーグなど、各国の一番強いチームが参加するリーグ戦が行われる。6月にブンデスリーガのリーグ戦が終わり、夏休みの間にサッカー・ワールドカップなどのトーナメントが行われる。こうやって、一年中必ず365日間サッカーのニュースがしつこく報道され、男女に関わらず、サッカーの話をする人が非常に多い。

もちろん、報道で取り上げられるのは、試合の結果などのようなニュースだけではない。最近話題になってきたのは、プロリーグにおける賄賂である。ドイツでは、一年で1300億円以上がサッカーなどの試合に賭けられる。ネットで全世界のサッカーリーグの試合にお金を賭けることができるし、ドイツ国内だとガソリンスタンドや駅などでも試合にお金を賭けられる。お金が関わってくると賄賂で試合の結果を操りたい人も自然に出てくるだろう。

2009年11月、ヨーロッパのプロサッカー史上で一番大きいと言われている賄賂事件が摘発された。対象になる試合はドイツを初め、ベルギーやスイスなど、ヨー

ロッパ各国のリーグで行われた試合で、合計で200試合を超えている。賄賂を受けたのは、直接試合に関わっている選手と審判員だけでなく、捜査員によるとコーチなどの関係者も賄賂を受けていた。賄賂で試合の結果が変わった可能性がある試合の中には、ヨーロッパで一番人気があるUEFAチャンピオンズリーグの試合もある。

賄賂が摘発されてから、試合中に審判の判断が明らかに間違っているという時、ファンの中には「摘発された賄賂は一部だけだったかもしれない」というふうに思う人もいるし、判断のシステムを批判するファンや関係者も増えてきた。他のプロスポーツではカメラの映像で判断する審判員が一般になってきた時代だが、FIFA(国際サッカー連盟)は映像判断の導入を反対しているのはなぜだろう。映像判断さえあれば、少なくとも、審判員の賄賂は難しくなるだろう。

2009年11月18日。2010年サッカーW杯南アフリカ大会欧州プレーオフ、フランス対アイルランド第2戦で、フランスの選手はハンドでパスし、ゴールにつながり、フランスの出場が決まった。映像判断があれば、こういった間違いはなく、アイルランドは南アフリカに行くことになったかもしれない。よく考えたら、人口の少ないアイルランドよりも、人口の多いフランスの出場のほうが放送権やマーチャンダイズなどの儲けに繋がり、FIFA側にも「映像判断がなくてよかった」と思う人がたくさんいるだろう。お金がたくさん関わっているプロサッカーには個人の儲けのために賄賂が必ず存在すると意識しながらサッカーを見ると、本当に楽しくない。

第9回

「波トリック」

青少年講座「土曜楽楽教室」第1回目

～ドイツの文化を学び、卵デコレーションを作り、
ドイツのゲームを楽しもう～



- | | | | |
|-----|------------------------------|-------|----------------|
| ●講師 | パトリック・ルムラー | ●対象者 | 市内在住小学生と保護者 |
| ●日時 | 5月15日(土)
午前9時30分～午前11時30分 | ●参加費 | 無料 |
| ●場所 | 石橋公民館 | ●定員 | 15組まで(親と子1人ずつ) |
| | | ●申し込み | 石橋公民館 ☎52-1157 |

問い合わせ先

生活安全課 ☎40-5555 mail:seikatsu@city.shimotsuke.lg.jp